

check 避難の判断基準を確認してみましょう

災害時には、避難情報だけでなく周囲の状況も踏まえ、早めの避難を心がけることが大切です。いざという時に迷わず行動できるよう、避難判断基準をあらかじめ確認しておきましょう。

レベル5 緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保

何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命が危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保してください。



台風の影響により避難指示が発令されていたが、自宅で様子を見ていたら、テレビや防災ラジオなどで、「レベル5大雨特別警報」が発表され、自分がある地域に「レベル5緊急安全確保」の情報が。

この時点で、すでに逃げ遅れている可能性があり、屋外へ移動して避難所へ向かうのは命の危険を伴います。命を守るため、今いる建物の少しでも安全な部屋に直ちにとどまるか、近くの頑丈な建物へ緊急的に退避しましょう。

レベル4 避難指示 危険な場所から 全員避難

災害が想定されている区域等では、市からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくても情報収集し自ら避難の判断をしてください。

線状降水帯の影響により高齢者等避難が発令されていたが、自宅で様子を見ていたら、テレビや防災ラジオなどで、「レベル4氾濫危険警報」が発表され、自分がある地域に「レベル4避難指示」の情報が。

この時点では、災害発生の危険性が非常に高く、危険な場所から全員が避難しなければならない状況です。市から「避難指示」が発令された場合、対象地域の方は速やかに全員が安全な場所へ避難する必要があります。



レベル3 高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等は避難

災害が想定されている区域等では、市からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、高齢者等以外の方も外出を控えるなど行動を見直し、避難の準備をしましょう。



気象庁から「レベル3土砂災害警報」が発表されました。

大雨の影響により災害が発生する恐れがある状況で、市から「レベル3高齢者等避難」の情報が。

ご高齢の方や避難に時間がかかる方は危険な場所から避難し、その他の方も避難の準備を始めるタイミングです。

レベル2 避難行動の確認

ハザードマップで災害の危険性のある区域や避難場所、避難経路、避難のタイミングの再確認など、避難に備え、自らの避難行動を確認しておきましょう。

気象庁から「レベル2大雨注意報」が発表されました。

気象状況が悪化し災害の危険度が高まっている状態です。この段階では、まだ避難の必要はありませんが、避難行動を確認し、いつでも逃げられるように準備をする必要があります。



レベル1 心構えを高める

気象庁から警戒レベル1「早期注意情報」が出た場合には、最新の防災気象情報など確認するなど、災害への心構えを高めてください。

防災特集

今日の備えが明日の安心に



「災害が起ころうと、自分は大丈夫」と思っていませんか。災害時には、日頃の備えや早めの避難行動が命を守ります。この機会に、防災について改めて考えてみましょう。

問 危機管理課 ☎ (21) 2551



「新たな防災気象情報」って何？

「新たな防災気象情報」の運用が令和8年5月29日に始まりました。

新情報では、警報・注意報の情報名に、警戒レベルの数字が付いて発表されます。

左のページの避難情報のレベルと併せて、どんな行動をとったらいいか確認しておきましょう。



警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！				
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に、警戒レベルが付記されます。



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）。



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます。

